

障害のある学生への 合理的配慮と修学支援

2023/8/24（木）SP0Dフォーラム（2401D）

筑波大学人間系准教授 佐々木 銀河

【E-mail】 sgalaxy@human.tsukuba.ac.jp



自己紹介

専門

- 発達障害、自閉スペクトラム症、障害学生支援
- 応用行動分析、支援技術（Assistive Technology：AT）

経歴

- 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局（BHE）業務推進マネージャー
- 「発達障害学生支援(RADD)プロジェクト」専門アドバイザー
- 筑波大学に在籍する発達障害の診断または傾向のある学生への相談・支援、障害学生支援のマネジメント業務等を兼務
- 学外委員：独立行政法人日本学生支援機構「障害学生に関する紛争の防止・解決等事例集」協力者

主な研究テーマ

- 児童福祉施設職員に対する組織行動マネジメント
- 知的・発達障害のある人を支える支援技術の開発・実装
- 発達障害の診断または傾向のある大学生の修学支援



トピック



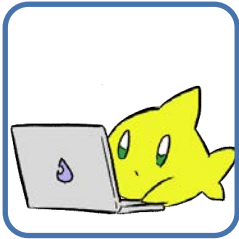
改正法を踏まえた障害学生支援と
合理的配慮の動向



仮想事例を用いた合理的配慮の検討（GW）

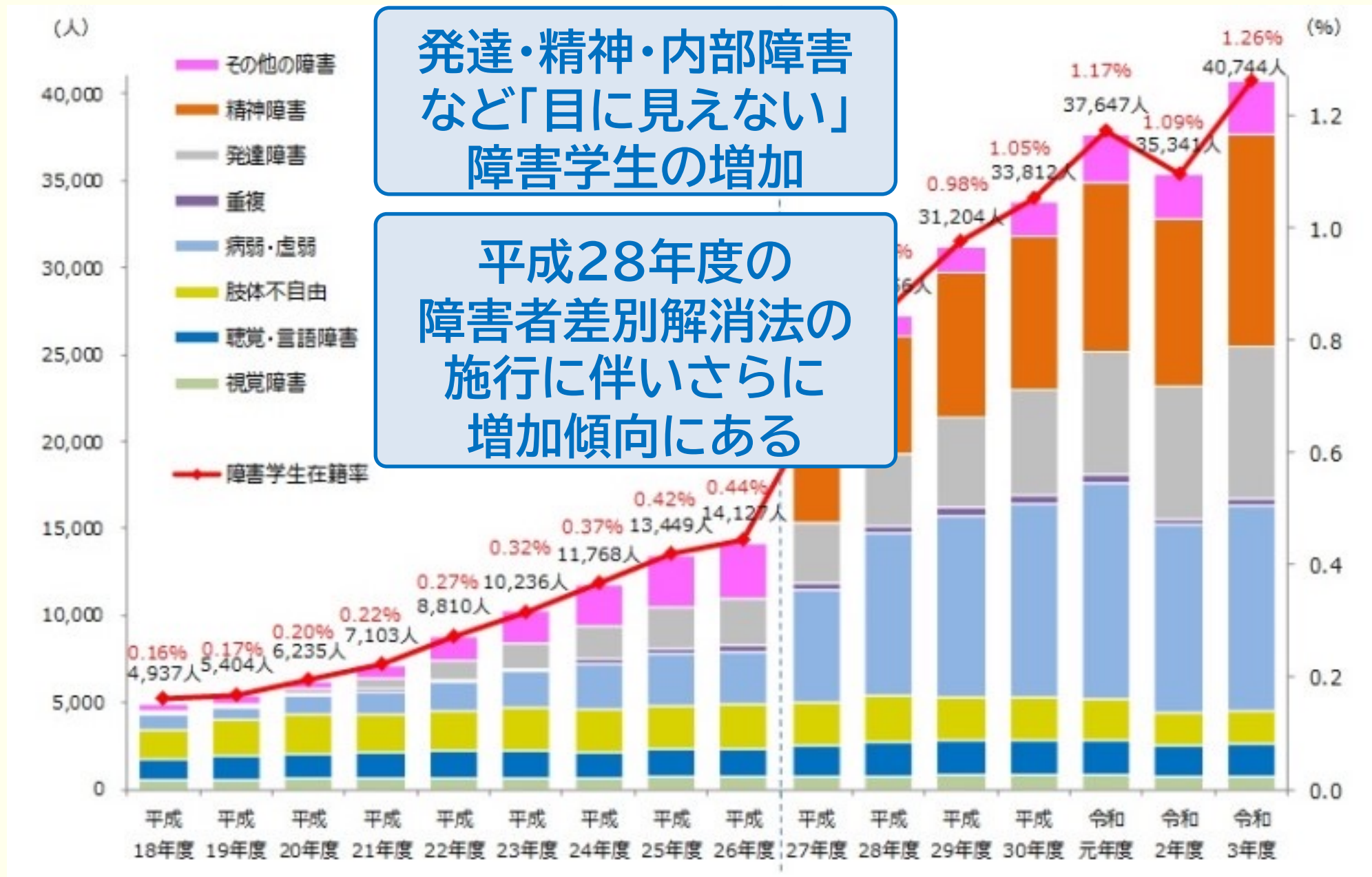


各大学等で利用できる支援リソースの紹介



発達障害のある学生を想定した
仮想事例動画による対応方法の検討（GW）

全国の障害学生の在籍状況



障害者差別解消法とは？

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

- 2016年4月1日より施行
- <https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html>



1. 障害者に対する不当な差別的取扱いの禁止

- ” 障害を理由に” 入学や授業受講を拒否する
- ” 障害を理由に” 実験・実習への参加を拒否する、
- ” 障害を理由に” 拒まないが正当な理由のない条件を付す など
- 正当な理由がある場合は差別的取扱いとならない
- 国公立大学も私立大学も法的義務

2. 合理的配慮の提供の義務化

- **民間事業者（私立大学等）の義務化を含む改正法が成立(2021/5/28)**
- 国公立大学は法的義務、~~私立大学は努力義務~~ **私立大学も法的義務へ**



施行に向けた現状（経過）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針

- <https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai/kihonhoushin/r05/pdf/honbun.pdf>

－ 基本方針のポイント

- 不当な差別的取扱いに該当する／該当しない例を示す
- 合理的配慮の提供義務違反に該当する例を示す
 - － 試験を受ける際に筆記が困難なためデジタル機器の使用を求める申出があった場合に、**デジタル機器の持込みを認めた前例がないことを理由に、必要な調整を行うことなく一律に対応を断ること**
- 合理的配慮と環境の整備の関連を例示する
- 事業者における内部規則やマニュアルなど制度等の整備の重要性
- 入試や資格試験での合理的配慮の提供を促すこと など

－ 現在、「障害のある学生の修学支援に関する検討会」開催中

- https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/123/index.html



合理的配慮とは？

本人からの「意思の表明」があり、「負担が過重でない」ときは合理的配慮を提供しなければならない

障害者から「●●をしてほしい」という意思表示がある

※本人単独での意思表示が困難な場合には保護者や支援者の援助を受けれるようにする

大学に過重な負担がなければ必要かつ合理的な配慮を提供する

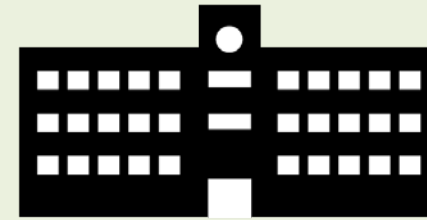
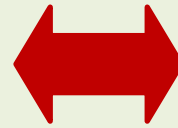
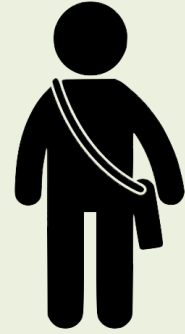


教育の本質を損なうか否か？

- ・ 合理的配慮 = 公平な参加の機会を与えるための変更および調整
 - ・ 合理的配慮の選択は本人の意志に基づき、教職員が決めるものではない
 - ・ 合理的配慮の提供は個々の学生の状況により多様かつ個別的
- すでに同種・同規模の大学で配慮している場合は、同様に配慮すべき



教育的支援と合理的配慮の違い



学生本人の能力向上 (教育的支援)

- 学習・社会的スキル指導
 - ・ 時間管理
 - ・ レポート、論文の作成
 - ・ 対人関係
- 進路・就職指導
- 健康管理・カウンセリング

教育環境の変更・調整 (合理的配慮)

- 教員の指示方法の変更・調整
 - 提供する資料内容の変更・調整
 - 受講方法の変更・調整
 - 支援機器の利用許可
 - 成績評価方法の変更・調整
- ※成績評価基準ではない

発達障害の診断または傾向のある学生への修学支援



合理的配慮の7つの要素

障害学生個々のニーズの存在

社会的障壁の除去

非過重負担

意向尊重

本来業務付随

機会均等

本質変更不可



過重な負担とは？

過重な負担

– 次の要件等を含めて、総合的・客観的に検討して判断

1. 教育及び研究、その他大学が行う活動への影響
(その目的・内容・機能を損なうか否か)
2. 実現可能性の程度
(物理的・技術的制約、人的・体制上の制約)
3. 費用・負担の程度
4. 大学の事務・事業規模、財政・財務状況

例) コミュニケーションが苦手な学生が討論に参加できないので代替レポートで単位を認めてほしい



①教育の目的を損なうと判断

討論の実技を習得するための授業なので、討論に参加しない場合は単位を認めない

例) 聴覚での情報処理が苦手な学生がノートが取れないのですべての授業でノートテイクを配置してほしい



②費用と人的制約から荷重と判断

コストとのバランスを検討し、授業の内容に応じて、優先順位の高い授業に導入



教育の本質とは？

3つの方針(AP, CP, DP)の明確化

「教育の本質」
を可視化

- 大学等の選択に必要な情報を入学希望者等に提供
- 合理的配慮の提供において変更可能な点と変更できない点を明確化

例1：素早く回答できることを評価することが本質 → 時間延長は×
例2：速さではなく回答の質を評価することが本質 → 時間延長は○

シラバスに授業の目標・内容・評価方法を明記

「授業内容」
を可視化

- 授業選択の手がかりになる
- 大学等からの支援が必要かを学生が事前に検討できる



教育の本質に関する明確化の例

教育の目的・内容・機能	具体的な能力水準	合理的配慮の例
良好な コミュニケーション力	ディスカッションや議論に参加できる 口頭による指示を正確に理解することができる	ディスカッションや議論におけるルールを明記する 口頭指示のメモ、携帯端末による筆記を許可する
基本的な知識・技能 の修得 (読み書き・計算能力)	試薬の計算を正確に遂行できる 専門用語を用いてレポートを書くことができる	試薬の計算に計算機の使用を許可する レポートの書き方の例を参照できるようにする
実験手法の正確な遂行	実験器具を安全に操作して使うことができる	実験器具の使用手順をマニュアルにして示す

3つの方針やシラバス等を参考資料にして
「～ができる」まで具体化すると配慮内容も検討しやすい



オンライン受講は障害学生の合理的配慮となるか？

公平に参加できる状態



個別の
合理的配慮

事前的改善措置（≡ユニバーサルデザイン）

不特定多数の障害学生を想定した環境の整備

COVID-19の感染拡大により
障害の有無にかかわらずオンライン授業が
提供されることとなった
（合理的配慮としての実現可能性の向上）

コロナ禍以前から
障害学生への合理的配慮の
選択肢として
検討・実施されてきた

（例：運動障害、発達障害、精神障害）

日本学生支援機構「障害学生に関する紛争の防
止・解決等事例集」

https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/kaiketsu/index.html

「授業の本質的変更」や
「実現可能性」を理由に
提供されない例も多かった

対面授業が再開されても
オンラインでの受講は
合理的配慮になりうる？

※授業の本質を変更しない範囲で



合理的配慮の考え方に基づきオンライン受講を検討

筑波大学 通知「障害を理由とした合理的配慮としてのオンラインによる授業受講について」



- <https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/support/online/>
- 基本的に合理的配慮の考え方と同じ
 1. 障害学生個人のニーズが現実存在すること
 2. 過重負担のない範囲であること
 3. 社会的障壁を実際に除去すること
 4. 障害学生の意向を尊重すること
 5. 他の学生との機会均等を実現するものであること
 6. 大学の本来の業務に付随する範囲で提供されるものであること
 7. 授業やサービス等の本質を変更するものではないこと

佐々木個人による論考

- 【情報まとめ+私見】オンライン受講は合理的配慮になるのか？
- <https://successability-lab.com/news/778/>



合理的配慮を学ぶための各種リソース

独立行政法人日本学生支援機構

－ 合理的配慮ハンドブック（WEB公開）

- ・ 障害別に基本的な考え方や対応例が載っている
- ・ https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/hand_book/index.html



－ 障害学生に関する紛争防止・解決事例集（WEB公開）

- ・ 各大学での対応事例を公開。よくある疑問をコラム形式で紹介
- ・ https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/kaiketsu/index.html



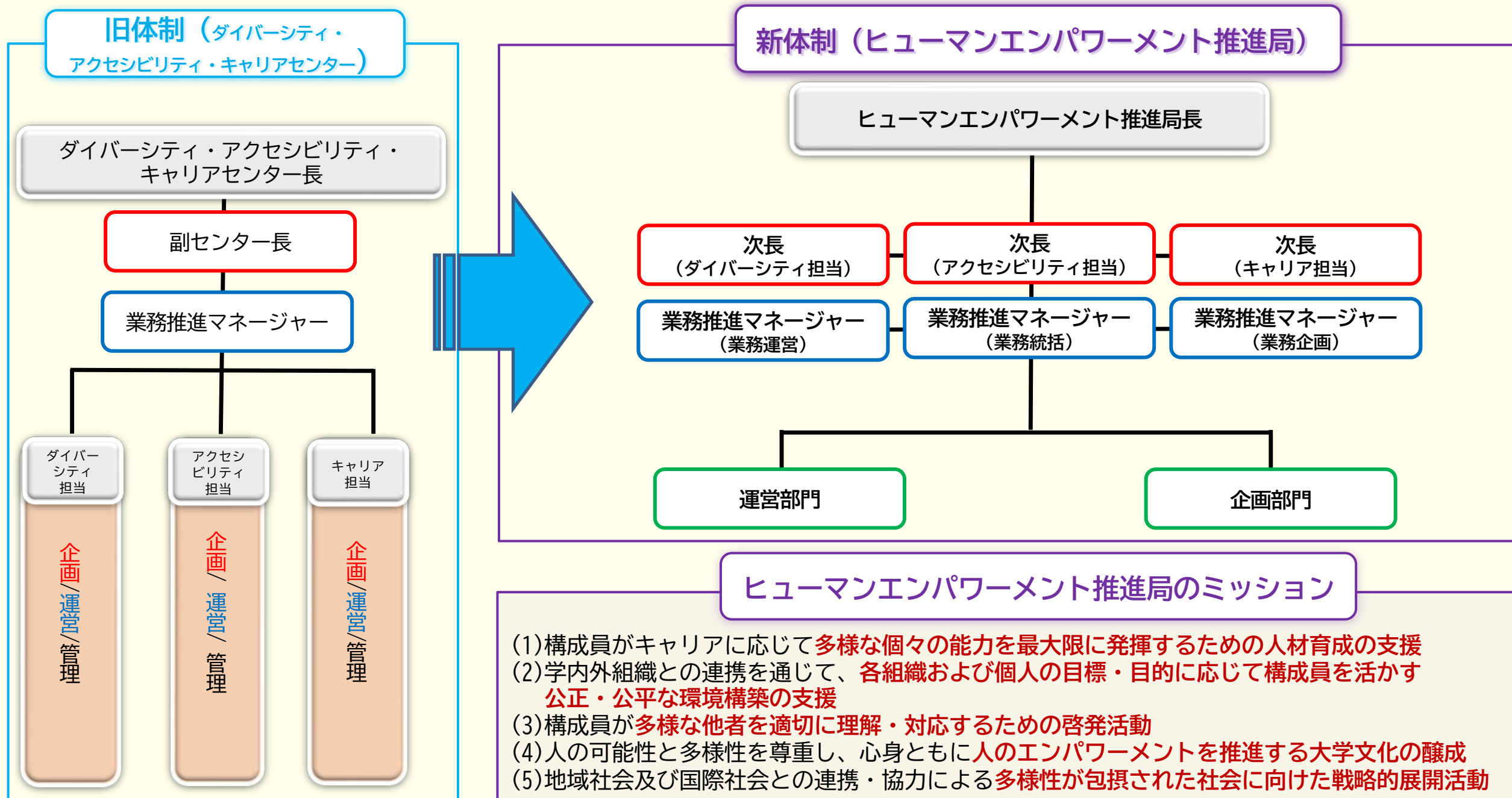
その他

－ 「よくわかる！大学における障害学生支援」（ジアース教育新社）

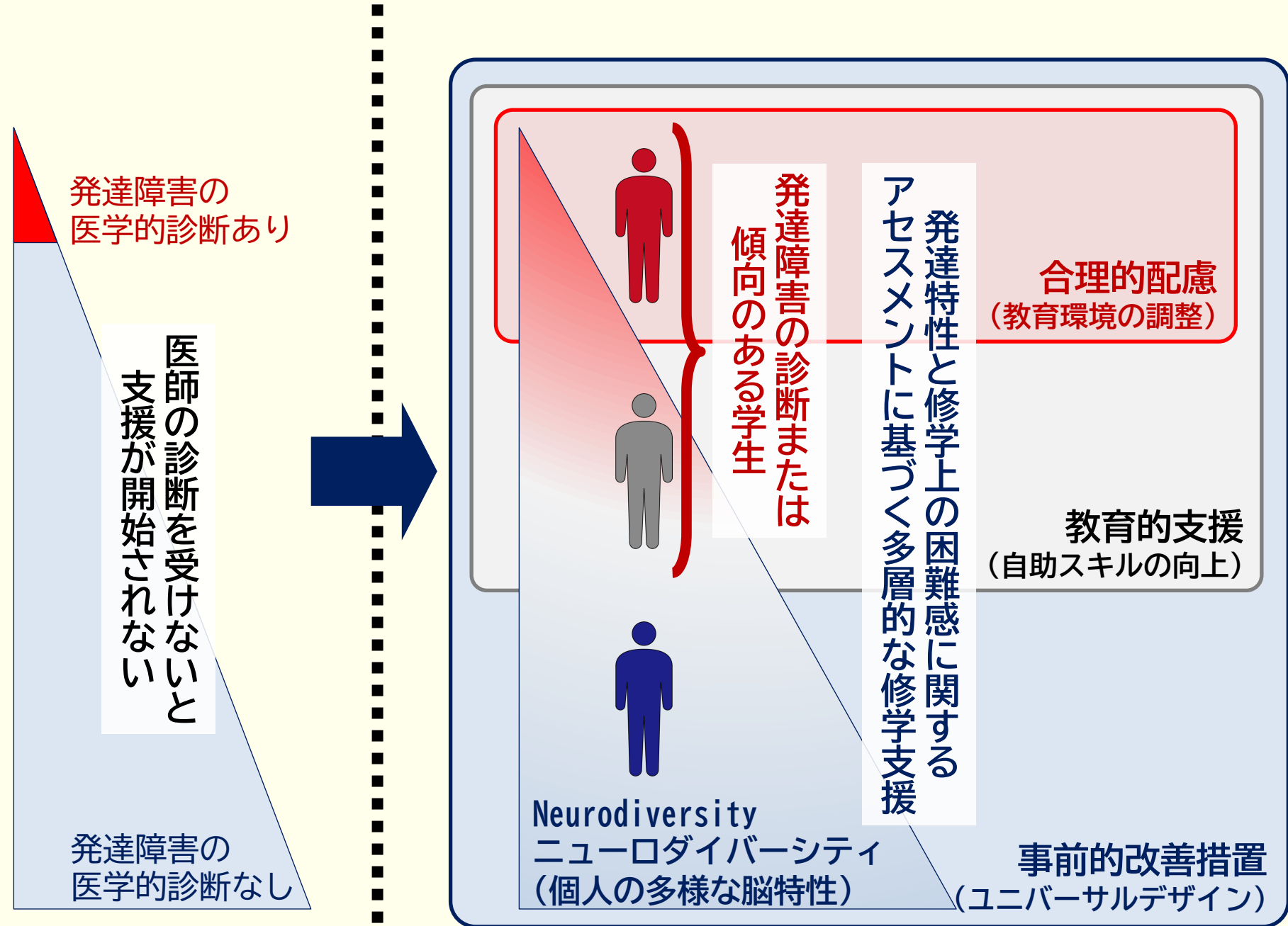
- ・ 国内外の専門家による障害学生支援のバイブル
- ・ <https://www.amazon.co.jp/dp/4863714696>



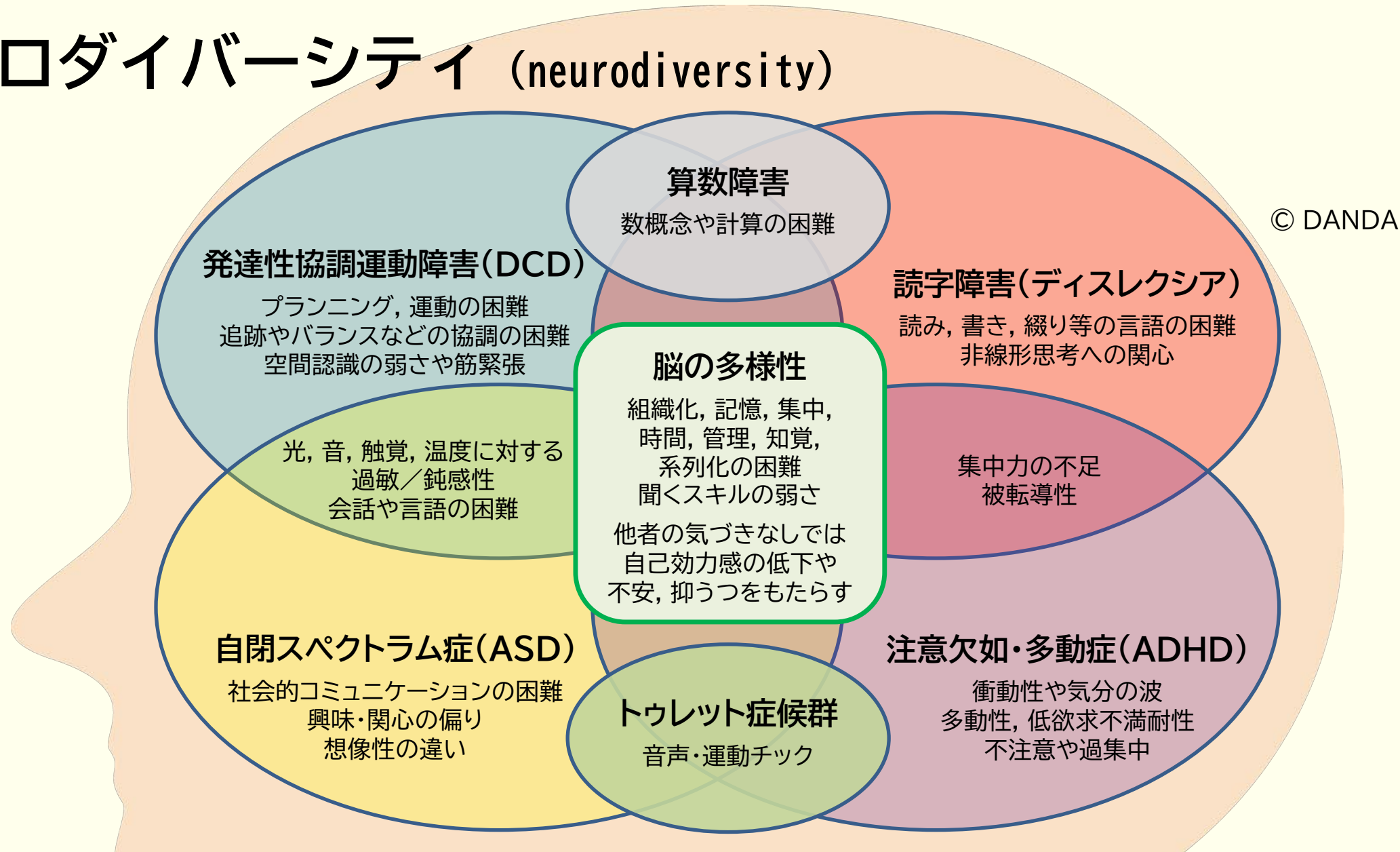
ヒューマンエンパワーメント推進局(2023.1.～)



筑波大学の発達障害学生支援モデル



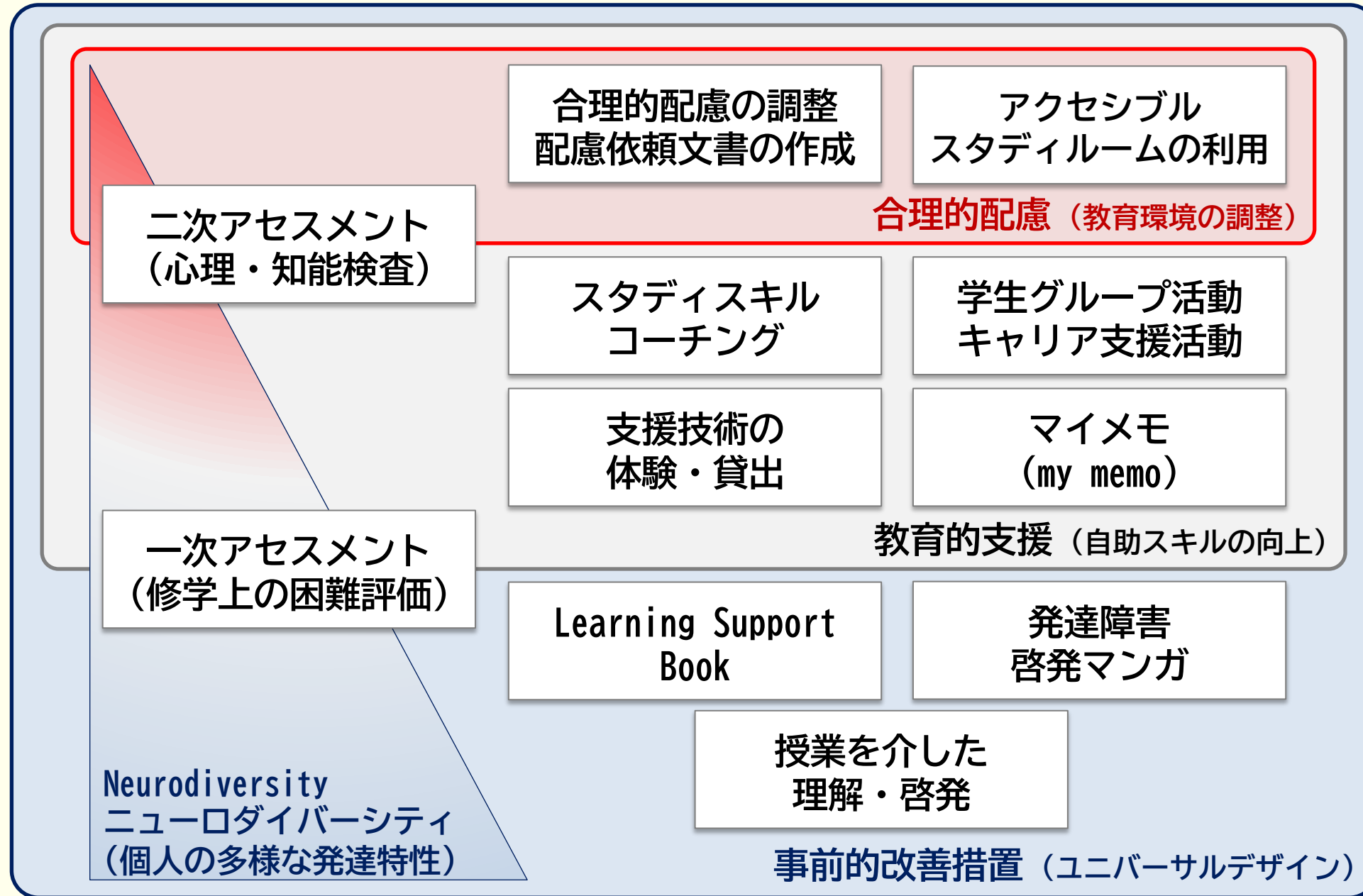
ニューロダイバーシティ (neurodiversity)



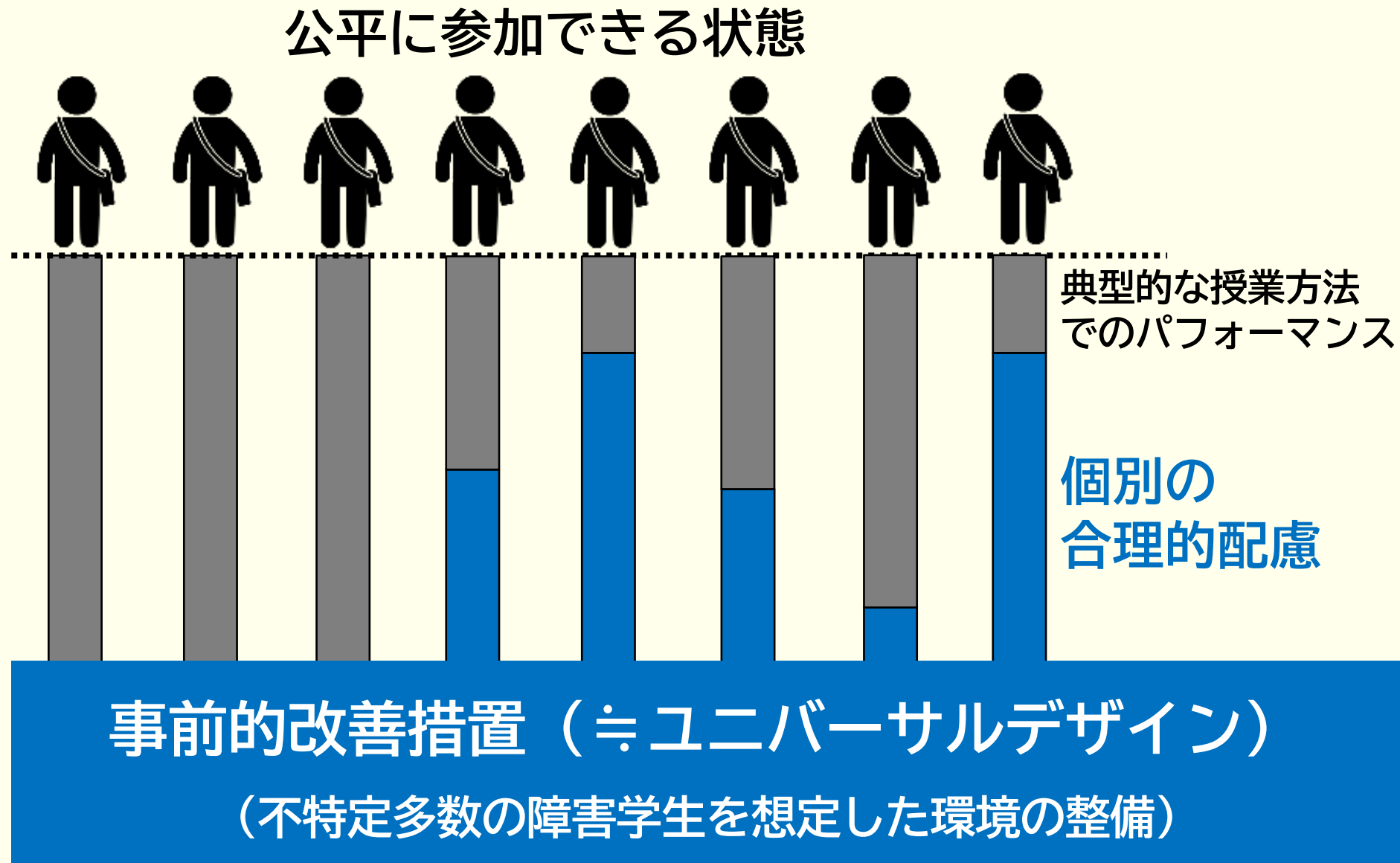
発達障害を”疾患”とみなす「医学モデル」からの転換
発達障害は”全ての人間の多様な脳特性における差異”とみなす「社会モデル」の考え方
”定型”に近づくことを支援の目的とせず、1人1人のニーズに即した支援を基盤とする



多様な発達特性を有する学生支援



障害の有無によらない環境づくり





ユニヴァーサルデザインの
国際的顕彰事業である
「IAUD 国際デザイン賞」受賞！

～あなたの学びを応援する～ Learning Support Book

「がんばる」ための
工夫を探しましょう



コンテンツ例

● Learning Support Book とは？
授業やレポート、試験勉強等で役立つ情報を
提供する電子ブックのポータルサイトです
勉強や生活で役立つ便利ツールやアプリ、
他の学生のマル秘テクニックなどを
大学などの教職員や学生が見れます

● どんな役に立ちますか？
「ノート・メモの取り方」「レポートの書き方」
「忘れ物を防ぐ方法」「集中力アップ」などの
コンテンツから興味があるものを見ると
より Smart に大学生活を送るのに役立ちます

● どんな人が作ってますか？
筑波大の学生が電子ブックを作っているので、
実際の学生生活で役立つ情報になっています



ノート・メモ の取り方

話を録音しながら
ノートが書けるペン
など

スケジュール 管理の方法

ふせんを使った
簡単スケジュール
管理ツール など

アクセスはこちら



<https://lsb.radd.tsukuba.ac.jp/>

勉強のやる気 アップ

勉強になかなか
取り組めない時の
テクニック など

忘れ物を防ぐ 方法

紛失したものを
探すための
便利ツール など

● もっと知りたい！
紹介動画もあります
ぜひ見てください



なかなか思い通りに勉強できない人
他の学生よりもワンランク上の
勉強テクニックを身につけたい人
にオススメ！



Learning Support Book(LSB)

LSB 全文検索 キーワードから探す

利用者の方へ

- ノート・メモの取り方
- 試験対策・レポートの書き方
- タスク・スケジュール管理
- 忘れ物を防ぐ方法
- 勉強のやる気・集中力アップ
- 学業と趣味・生活の両立
- コミュニケーションの取り方

関連リンク一覧

- 関連リンク一覧
- 関連リンク一覧
- 関連リンク一覧
- 関連リンク一覧

利用者の方へ

- Learning Support Book(LSB)とは？
- LSBの各コンテンツ
- LSBはどうやって作っているのか？
- LSBを見るには？

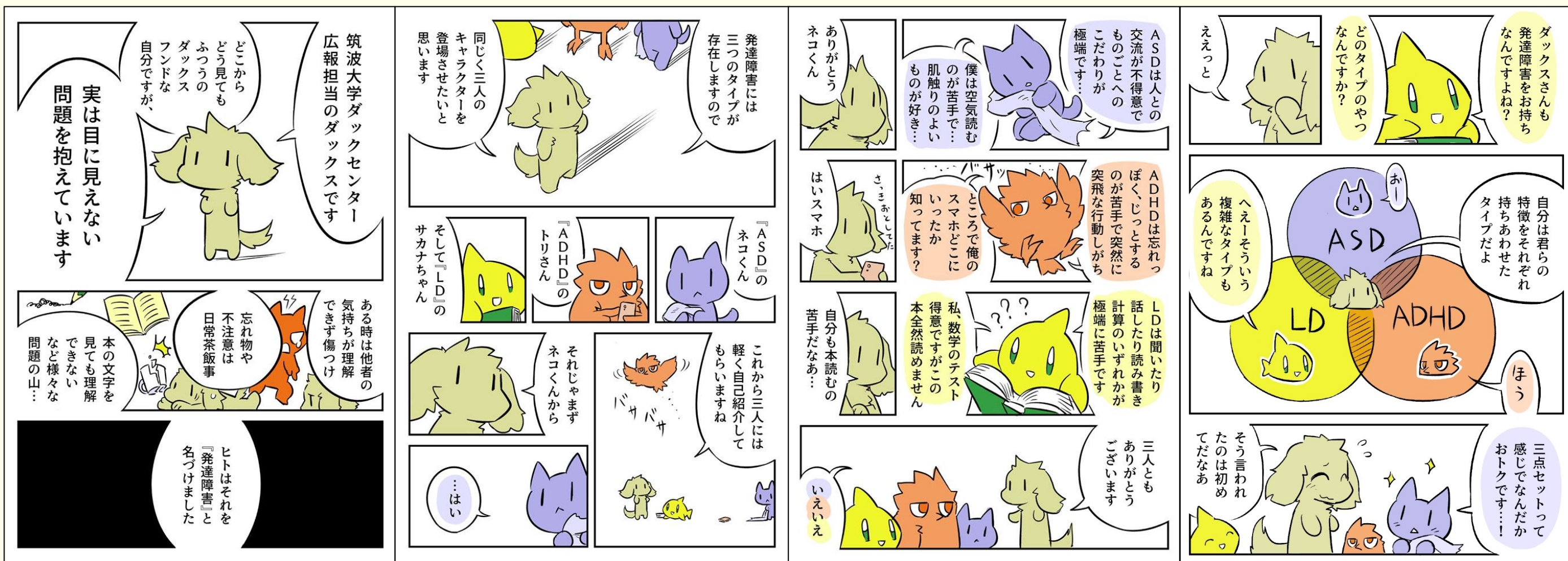
※他の大学等の学生・教職員とも共同利用できます
<https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/joint-base/lsb/>

【LSBの特徴】

- 発達障害のある方がもつ独自の視点や経験に関する情報を収集
学業や生活に役立つ情報を配信
特に発達障害学生に有効な
ハイク・ローテク支援技術
(Assistive Technology) に関する情報を掲載
- “障害”ではなく”ニーズ”表記
「障害」のラベルを基本的に
用いないデザイン
医学的診断に抵抗がある学生
でもアクセスしやすい
- 大学生のサポーターが作成
学生目線での情報配信が可能



マンガを通した理解・啓発活動



発達障害当事者の筑波大学職員による啓発マンガ
多くの人に啓発するため、発達障害啓発マンガはCC0 1.0ライセンス（著作権フリー）を適用
発達障害啓発マンガは自由に複製・印刷・再配布・改変OK！

<https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/joint-base/manga/>



発達障害のグレーゾーンについても紹介

ヒトはそれを 『発達障害』と 名づけました

筑波大学DACセンター 監修
佐々木銀河 編・解説 ダックス 著



金子書房

金子書房より発売

【主な内容】

- ・「発達障害」という言葉に、私たちはどのように向き合うのか
- ・マンガ『発達障害とは？（ASD、ADHD、LD）』
- ・「発達障害」と名づけられることで、変わることに、変わらないこと
- ・マンガ『発達障害のグレーゾーン』
- ・マンガ『当事者さんの自己紹介漫画』
- ・大きな「苦手」の森の中にある
小さな「得意」の芽を見つけ、育てる



多様な学生支援スキル育成プログラム

【実施の目的】

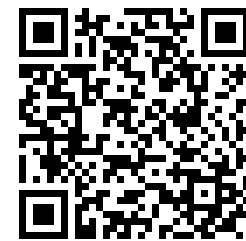
- 多様性の時代に対応する高等教育機関の人材充実を目指すこと
- 多様な学生支援に必要なスキルを身につけること

【参加条件・形態】

- 高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校等）に所属する教職員であれば、だれでも参加可
- 学習管理システムMoodleを利用した完全オンラインのプログラムのため、自身のペースで好きな時間に学べる
- 無料で受講可能（個人単位での受講申し込み）

【学習の進め方】

- 各科目は、講義動画（20～30分）を視聴したのち、小テストに合格すると受講完了
- 必修科目（6科目）と選択必修科目（3科目以上）の合計9科目以上を受講するとBHEより修了証明書を発行
- 発達障害・身体障害・LGBTQ等に関する科目が受講可
- https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/joint-base/bhe_program/



グループワークの基本的な進め方（時間は目安です）

発達障害学生を想定した仮想事例動画

- － 筑波大学での相談事例を複数集めて加工したものです

©2023 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局

1：仮想事例動画を視聴（5分）

2：グループワーク（30分）

- － 事例動画を踏まえて、ディスカッションしていただきたいポイントをお伝えします

3：シェアリング・解説（20分）

- － グループで話し合ったことを簡単にお聞きします
- － 話し合いの内容を踏まえて、対応する際のポイントを解説いたします



平等(Equality)と公平(Equity)の違い

Equality



Equity



個人の機能の程度と環境（社会的障壁）との間に
どのような問題（障害）があるかを考え、対処する

The assumption is that **everyone benefits from the same supports**. This is equal treatment.

Everyone gets the supports they need
(this is the concept of "affirmative action"), thus producing equity.

